



2024年9月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2024年5月14日

上場会社名 株式会社ダイイチ

上場取引所 東札

コード番号 7643 URL <https://www.daiichi-d.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 若園 清

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼企画IR担当 (氏名) 西崎 進

TEL 0155 - 38 - 3456

四半期報告書提出予定日 2024年5月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第2四半期の業績(2023年10月1日~2024年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第2四半期	26,015	8.0	1,157	10.8	1,162	10.8	798	11.2
2023年9月期第2四半期	24,084	3.6	1,044	21.3	1,049	21.4	718	22.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第2四半期	70.08	
2023年9月期第2四半期	62.86	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第2四半期	24,400	16,317	66.9
2023年9月期	23,483	15,854	67.5

(参考)自己資本 2024年9月期第2四半期 16,317百万円 2023年9月期 15,854百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期		0.00		25.00	25.00
2024年9月期		0.00			
2024年9月期(予想)				26.00	26.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年9月期の業績予想(2023年10月1日~2024年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,400	4.9	1,760	1.6	1,760	3.3	1,215	1.6	106.41

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年9月期2Q	11,438,640 株	2023年9月期	11,438,640 株
期末自己株式数	2024年9月期2Q	70,388 株	2023年9月期	12,088 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年9月期2Q	11,399,452 株	2023年9月期2Q	11,426,552 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P.3「1.当四半期決算短信に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(重要な後発事象)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、インバウンドを含む人流の回復に加え、経済活動の正常化が一層進み、雇用・所得環境が改善する一方で、物価の上昇、実質賃金マイナス状況が続いており、一部個人消費などに足踏みもみられるものの、景気は緩やかに回復しております。

ただし、世界的な金融引締めの影響や、中国経済の先行き不安、中東情勢の緊迫化、それらに伴う円安や物価上昇など、景気の下押しリスクは依然として強く、先行き不透明な状況が続いております。

スーパーマーケット業界においては、長引く物価高により、お客様の「節約志向」、「買い控え傾向」が一層強まっていることに加え、各種経費の増加、業種・業態の垣根を越えた競争の激化など、経営環境は厳しい状況が続いております。

このような状況の下、当社は、2023年11月に公表しました中期経営計画(2024年9月期～2026年9月期)に基づき、基本方針である『普段の食生活を通じて、地域を笑顔に』の実現に向けて、「商品力・販売力の向上」、「お客様利便性の向上」、「労働環境の改善」、「環境保全・地域活性化」、「効率化の推進」、「株主還元強化」などへの取り組みをスタートしました。

初年度である2024年9月期に関しましては、①コンプライアンスの徹底とガバナンス強化、②出店戦略推進、③競合店対策強化、④商品力強化(コア商品の開発推進等)、⑤セブン&アイ・ホールディングスとの連携強化、⑥人財の増強(採用・育成強化、労働環境改善)、⑦効率化・オペレーションコストの削減、⑧社会貢献、地域貢献を通じた地域密着型企業の深化、を重点実施事項としております。

当第2四半期累計期間における主な成果としましては、「②出店戦略推進」への取り組みとして、2023年11月30日に「すすきの店」をオープンしました。同店は、多くのお客様にご利用いただいております。売上だけでなく、ダイイチブランドの発信拠点としても大きく貢献しております。

また、2024年2月には資本業務提携を締結している株式会社イトーヨーカ堂のイトーヨーカドー帯広店並びにアリオ札幌店の退店後のスーパーマーケット(食品販売)区画への当社出店を発表いたしました。これは、「⑧社会貢献、地域貢献を通じた地域密着型企業の深化」への取り組みとして、「両店を利用されているお客様の食のライフラインを維持」し、「両店の従業員の皆様の雇用を確保」することも出店を決定した大きな理由となっております。

本出店を機に、「⑤セブン&アイ・ホールディングスとの連携強化」を図り、「④商品力強化」として、セブンプレミアム商品の取扱い拡充等を進めてまいります。

「③競合店対策強化」、「④商品力強化」への取組みとして、物価高によるお客様の節約志向や多様化するお客様ニーズに的確に対応していくため、量目も含めた商品ラインアップの見直し・拡充に努め、来店客数増強や買い控えによる販売点数減少傾向歯止めにも効果を上げております。

当第2四半期末現在の店舗数は、帯広ブロック9店舗、旭川ブロック7店舗、札幌ブロックは7店舗となり、全ブロック合計で23店舗となりました。

今後の店舗戦略としましては、前述のイトーヨーカドー帯広店及びアリオ札幌店退店後のスーパーマーケット区画への出店に加え、本年秋頃には、ラピダス進出により大きな発展が期待される千歳市への出店を予定しているなど、引き続きドミナントの拡充を進めてまいります。

また、日頃のお買い物にご不便されている方々に商品をお届けする「移動スーパー(とくし丸)」事業は、社会貢献及び地域貢献の一環として取り組んでおり、当第2四半期末現在で16台が稼働しております。今後も地域のニーズに積極的に対応すべく、増車を検討してまいります。

これらの結果、当第2四半期累計期間における売上高は260億15百万円(前年同期比8.0%増)、営業利益は11億57百万円(前年同期比10.8%増)、経常利益は11億62百万円(前年同期比10.8%増)、四半期純利益は7億98百万円(前年同期比11.2%増)となりました。地域別売上高につきましては、帯広ブロックは104億93百万円(前年同期比4.9%増)、旭川ブロックは72億67百万円(前年同期比4.8%増)、札幌ブロックは、2023年11月にオープンした「すすきの店」の効果等により82億54百万円(前年同期比15.5%増)となりました。

売上総利益率につきましては25.7%となり、前年同期比0.6ポイント改善しました。販売費及び一般管理費の売上高に対する比率は22.3%となり、前年同期比+0.3ポイントとなりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期会計期間末の資産につきましては、前事業年度末に比べ9億17百万円増加の244億円となりました。流動資産においては、売掛金の増加2億円、現金及び預金の増加1億70百万円等により、前事業年度末に比べ

3億47百万円増加の105億39百万円となりました。固定資産においては、建物の増加5億68百万円、長期貸付金の増加52百万円等により、前事業年度末に比べ5億69百万円増加の138億61百万円となりました。

（負債）

当第2四半期会計期間末の負債につきましては、前事業年度末に比べ4億53百万円増加の80億83百万円となりました。流動負債においては、買掛金の増加3億54百万円及び未払法人税等の増加78百万円等により、前事業年度末に比べ4億16百万円増加の60億9百万円となりました。固定負債においては、資産除去債務の増加1億98百万円、長期借入金の減少28百万円等により、前事業年度末に比べ37百万円増加の20億73百万円となりました。

（純資産）

当第2四半期会計期間末の純資産につきましては、前事業年度末に比べ4億63百万円増加の163億17百万円となりました。

これは主に、四半期純利益7億98百万円の計上、剰余金の配当2億85百万円の結果、利益剰余金が5億13百万円増加したこと、及び自己株式の取得57百万円によるものであります。この結果、自己資本比率は66.9%となりました。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2024年2月13日に「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしましたとおり、2024年9月期の第2四半期累計期間および通期の業績を修正いたしました。

修正後の通期の業績予想に対する第2四半期累計期間の実績の進捗状況は、以下のとおりであります。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
通期予想 (A)	50,400	1,760	1,760	1,215	106.41
第2四半期実績 (B)	26,015	1,157	1,162	798	70.08
進捗率(%) (B)/(A)	51.6	65.8	66.0	65.7	65.9

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年9月30日)	当第2四半期会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,781,592	7,952,356
売掛金	721,285	921,888
商品及び製品	1,087,384	1,000,022
原材料及び貯蔵品	2,354	1,568
その他	601,153	665,461
貸倒引当金	△1,500	△1,500
流動資産合計	10,192,270	10,539,796
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	4,157,958	4,726,688
土地	6,103,365	6,103,365
その他（純額）	1,228,082	1,053,716
有形固定資産合計	11,489,405	11,883,770
無形固定資産		
その他	72,587	66,142
無形固定資産合計	72,587	66,142
投資その他の資産		
長期貸付金	617,635	670,328
その他	1,111,571	1,240,770
投資その他の資産合計	1,729,207	1,911,099
固定資産合計	13,291,199	13,861,012
資産合計	23,483,470	24,400,808
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,924,675	3,279,478
1年内返済予定の長期借入金	56,004	56,004
未払法人税等	319,369	397,667
賞与引当金	227,172	157,509
その他	2,066,528	2,119,337
流動負債合計	5,593,749	6,009,995
固定負債		
長期借入金	97,987	69,985
退職給付引当金	836,864	857,487
資産除去債務	16,980	215,293
その他	1,083,622	930,392
固定負債合計	2,035,453	2,073,158
負債合計	7,629,203	8,083,154
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,639,253	1,639,253
資本剰余金	1,566,100	1,566,100
利益剰余金	12,650,193	13,163,436
自己株式	△2,980	△60,792
株主資本合計	15,852,565	16,307,997
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,701	9,656
評価・換算差額等合計	1,701	9,656
純資産合計	15,854,267	16,317,653
負債純資産合計	23,483,470	24,400,808

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
売上高	24,084,715	26,015,976
売上原価	18,030,261	19,327,622
売上総利益	6,054,454	6,688,354
営業収入	280,192	268,142
営業総利益	6,334,647	6,956,496
販売費及び一般管理費	5,290,351	5,799,208
営業利益	1,044,296	1,157,288
営業外収益		
受取利息	1,989	1,813
受取配当金	168	160
その他	3,681	3,652
営業外収益合計	5,839	5,626
営業外費用		
支払利息	274	198
その他	345	292
営業外費用合計	620	491
経常利益	1,049,514	1,162,423
特別損失		
固定資産除却損	—	59
特別損失合計	—	59
税引前四半期純利益	1,049,514	1,162,364
法人税、住民税及び事業税	306,567	351,878
法人税等調整額	24,720	11,578
法人税等合計	331,287	363,456
四半期純利益	718,227	798,907

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。